

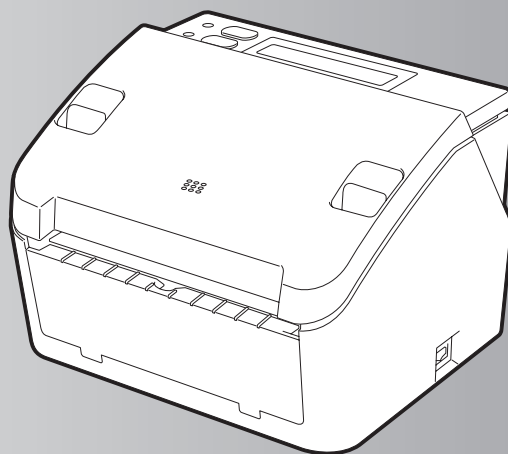
**TEC**

# 取扱説明書

---

テック バーコードプリンタ

# B-LV4D シリーズ



- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」は必ず読んで、正しくお使いください。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

# 目次

▶ 無線機器に対する使用上のご注意	4
▶ 安全上のご注意(安全にお使いいただくために)	6
▶ 各部の名前と働き	11
正面	11
背面	11
印字機構部	12
付属品	12
操作パネル	13
▶ 本機をお使いになる前の準備	14
設置場所について	14
電源コードを接続する	15
コンピュータと接続する	17
プリンタドライバについて	18
設定ツールについて	18
▶ 電源のON/OFFについて	19
電源をONにする	19
電源をOFFにする	20
▶ 用紙をセットする	21
用紙ガイド幅を調整する	21
ファンフォールド紙をセットする	22
ロール紙をセットする	23
▶ 用紙センサーの位置調節について	24
用紙センサーの位置関係	24
反射センサーの位置を調整する	25
透過センサー(中央)を使用する場合	25
▶ 用紙検出センサーの感度調整について	26
▶ 自己診断結果とテスト印字について	28
自己診断印字手順	28
テスト印字手順	31
テスト印字サンプル	32
▶ LAN設定手順について	33
▶ 日常のお手入れ	34
カバーを清掃する	34
用紙搬送部を清掃する	34
印字ヘッド/プラテン/センサーを清掃する	35
▶ 困ったときは	36
エラーメッセージについて	36
正しく動作しないとき	37
用紙が詰まったとき	38
▶ 仕様	39
本機の仕様	39
用紙の仕様	40
▶ 保証とアフターサービス(必ずお読みください)	41
▶ サービスステーション所在地一覧	42

本機はRoHS<sup>※</sup>指令に対応しています。

※RoHS : Restriction of the use of certain Hazardous Substances

EU(欧州連合)加盟国では、コンピュータや通信機器、家電などの電気・電子製品中に特定有害物質(6物質群)の使用禁止を定めたRoHS指令が2006年7月から施行されました。

対象となる特定有害物質：鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、  
ポリ臭化ビフェニル類、ポリ臭化ジフェニルエーテル類

## 通信ケーブルについて

- コンピュータと接続する通信ケーブルは、当社が推奨するケーブルを使用してください。詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

## 本書で使用しているマークの意味

**お願い** : できないこと、してはいけないこと、注意していただきたい情報を記述しています。

**補足** : 知っているると便利なことや補足情報を記述しています。

(→ ) : 詳しい説明のある項目やページを記述しています。  
例)(→『困ったときは』) (→P.36)

## 重要なお知らせ

- 本機をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の内容の一部または全部を、当社に無断で転載することは禁止されています。
- 本機(ソフトウェアを含む)の仕様および外観は改良のため、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しております。万一、ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 本機(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格などには適合していません。本機を日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いません。また、当社は本機に関する日本国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っていません。
- 本書に記載している会社名、商品名は、各社の登録商標または商標になっている場合があります。

# 無線機器に対する使用上のご注意

以下の注意事項は、無線機能を装備した仕様に対してのみ適用されます。

## 使用可能地域

本製品は無線装置であり、使用できる国・地域は日本国内に限定されます。日本以外の国・地域で使用するとその国・地域の法律により罰せられることがあります。

## 使用時の注意事項

本製品は、電波法で定められた無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けています。したがって、日本国内のみの使用目的において、無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造したり、証明表示をはがしたりすると、法律により罰せられることがあります。

### ● 航空機内や病院などの使用を禁止された場所では使用しない

禁止場所が不明な場合、航空会社や医療機関に確認の上、指示に従ってください。誤って使用すると、運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。

### ● 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器への影響

本製品は携帯電話などと比べて非常に小さい電力を使用しており、心臓ペースメーカーや除細動器への干渉の可能性は非常に低いと考えられます。

万一、本製品の使用に際して、心臓ペースメーカーおよび除細動器への影響が生じた可能性がある場合、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

### ● 分解・改造・修理をしない

けがの原因となります。分解・改造は電波法違反にもなります。修理は最寄りのサービスステーションへご依頼ください。

## 機能について

本製品は、電波を利用して通信を行います。したがって、設置場所、設置方向、使用環境などにより通信性能が低下したり、近くの機器に影響を与えたりすることがあります。

### ● 電子レンジのそばで使用しないこと

電子レンジの電波の影響で、通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。

### ● 金属製の机や台の上、金属物のそばで使用しないこと

通信性能低下の原因となります。

### ● Bluetoothと無線LANを同時に使用しないこと

Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉しあい、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、Bluetoothまたは無線LANのいずれか一方を使用中止にしてください。

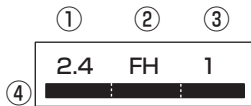
## 2.4GHz帯域使用製品について

本製品の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

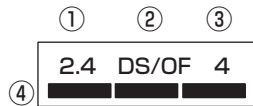
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局または特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、最寄りのサービスステーションへご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーテーションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、最寄りのサービスステーションへお問い合わせください。

## 表示について

・B-LV700-BT-R



・B-LV700-WLAN-R



- ①「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備です。
- ②「FH」 「DS/OF」 : 変調方式を表します。
- ③「1」 「4」 : 予測される与干渉距離を表します。
- ④「[Solid Black Bar]」 : 全域帯を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを表します。  
「[Solid Black Bar]」 : 全域帯を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

# 安全上のご注意(安全にお使いいただくために)

お買い上げいただきました製品(本機)および取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

## ■ 表示の意味



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※1: 重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## ■ 図記号の例



注意

△は、注意(警告を含む)を促す事項を示しています。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示しています。



分解禁止

⊘は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。



プラグを抜く

●は、必ずしてほしい行為(強制事項)を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。

⚡無線機器(テレビ・ラジオ)の近くでは使用しないでください⚡

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品






# ⚠ 警告

<p>●交流100V以外では使用しないこと 火災・感電の恐れがあります。</p>	 100V 以外禁止
<p>●タコ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと 電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。</p>	 禁止
<p>●電源コードを無理に曲げたり、傷つけたり、引っばったり、重い物を乗せたり、加熱したりしないこと コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。</p>	 禁止
<p>●濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないこと 濡れた手で操作すると、感電の恐れがあります。</p>	 ぬれ手禁止
<p>●分解や改造、ご自身での修理はしないこと 火災・感電の恐れがあります。点検や修理については、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>	 分解禁止
<p>●水がかかる場所で使用したり、水に濡らさないこと 内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。</p>	 水ぬれ禁止
<p>●本機の上に液体の入った容器やアクセサリなどの金属類を置かないこと こぼれて中に入ると、火災・感電の恐れがあります。</p>	 禁止
<p>●万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。</p>	 プラグを抜く
<p>●本機の上や通風口などにクリップなどの金属類、液体、燃えやすい物などを落としたり、差し込んだりしないこと 配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。</p>	 禁止
<p>●万一、異物(金属片・液体)が本機に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。</p>	 プラグを抜く
<p>●本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないこと カバーなどが破損し、火災・感電の恐れがあります。</p>	 禁止
<p>●万一、本機を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。</p>	 プラグを抜く
<p>●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込むこと 確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 確実に差し込む
<p>●必ずアース(接地)すること 万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。 ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース(接地)を行わないでください。</p>	 アース接続する

## ⚠️ 注意

<p>● <b>電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと</b> 電源コードを引っばると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 プラグを持つ
<p>● <b>電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること</b> ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。</p>	 ほこりを取る
<p>● <b>長期間使用しないときは安全のため、電源プラグをコンセントから抜くこと</b> 火災の原因となることがあります。</p>	 プラグを抜く
<p>● <b>お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと</b> 感電の原因となることがあります。</p>	 プラグを抜く
<p>● <b>移動するときは、電源コードや他の接続コードを抜くこと</b> 接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 コードを抜く
<p>● <b>通信ケーブルは、本機およびコンピュータの電源OFF状態で接続すること</b> 電源がON状態で接続すると、感電・ショート・故障の原因となることがあります。（LANケーブル、USBケーブル接続時を除く）</p>	 強制
<p>● <b>湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる暑い場所に置かないこと</b> 内部の温度が上がったり、絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>● <b>ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に置かないこと</b> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>● <b>調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かないこと</b> 絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>● <b>本機をキャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをすること</b> 動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。</p>	 キャスターを止める
<p>● <b>本機の上に重い物を置かないこと</b> 置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>● <b>用紙やリボンなどの消耗品を交換するときは、プリンタのギアなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを巻き込まれないこと</b> けがの原因となることがあります。</p>	 注意
<p>● <b>冷気が直接当たる場所に本機を置かないこと</b> 露がつき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 禁止

## ⚠️ 注意

<p>●本機を子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置かないこと 感電・けがの原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>●プリンタのヘッド部周辺は高温になっている場合があるので、消耗品の交換時などに手を触れないこと やけどの原因となることがあります。</p>	 接触禁止
<p>●カッター部には手を触れないこと けがの原因となることがあります。</p>	 接触禁止
<p>●取扱説明書で指定する箇所以外のカバーの開閉、点検、清掃、消耗品の交換などはしないこと 感電・けがの原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>●シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで本機を清掃しないこと 火災の原因となることがあります。</p>	 禁止

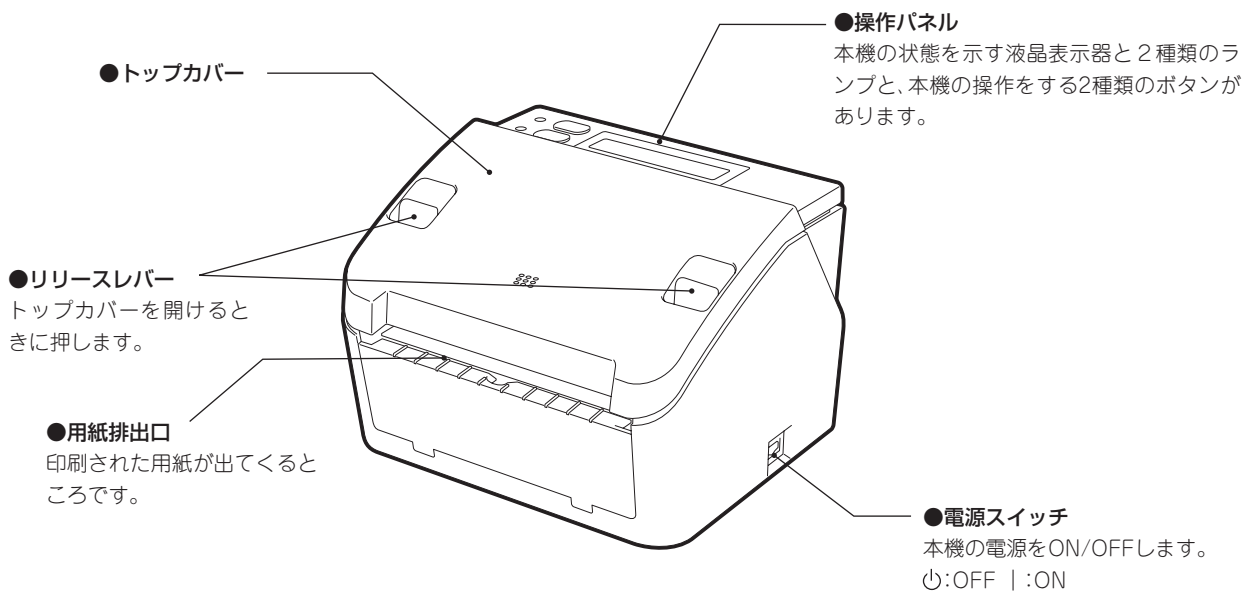
## お願い

本機を正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

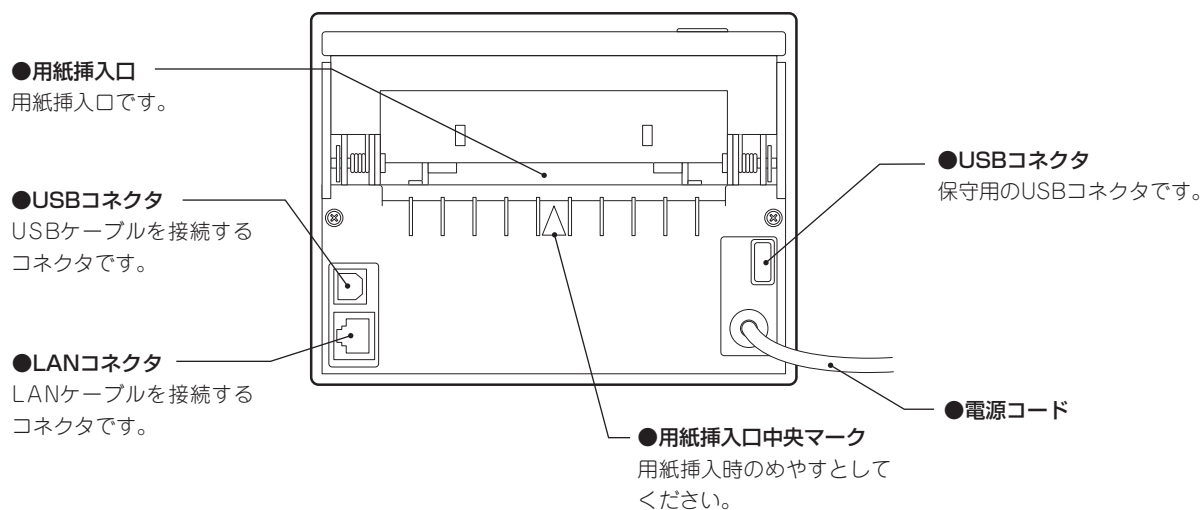
<p>●<b>急激な温度変化を与えないでください。</b> 結露が生じ、故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●<b>ほこりの多いところ、振動が強いところに置かないでください。</b> 故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●<b>直射日光の当たるところ、熱器具や調理台のそば、水や油煙のかかるところには置かないでください。</b> 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。</p>	 禁止
<p>●<b>磁石やスピーカーなど、磁気を発するものの近くに置かないでください。</b> 故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●<b>テレビやラジオの近くでは使用しないでください。</b> 電波妨害を引き起こす原因となります。</p>	 禁止
<p>●<b>本機を落としたりぶついたり、本機に強い衝撃を与えないでください。</b> 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。</p>	 禁止
<p>●<b>お手入れをするときは、シンナーやベンジンなどの薬品類を使用しないでください。</b> 変質・変形・変色・故障の原因となります。</p>	 禁止
<p>●<b>印字した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。</b> 印字内容の判読不能の原因となります。印字面の堅牢性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。</p>	 禁止
<p>●<b>当社指定の用紙を使用してください。</b> 当社指定品以外の用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。</p>	 指定品使用
<p>●<b>用紙などの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。</b> 直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色した用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。</p>	 強制
<p>●<b>オプション類は当社純正品(指定品)を使用してください。</b> 当社純正品(指定品)以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。</p>	 指定品使用

# 各部の名前と働き

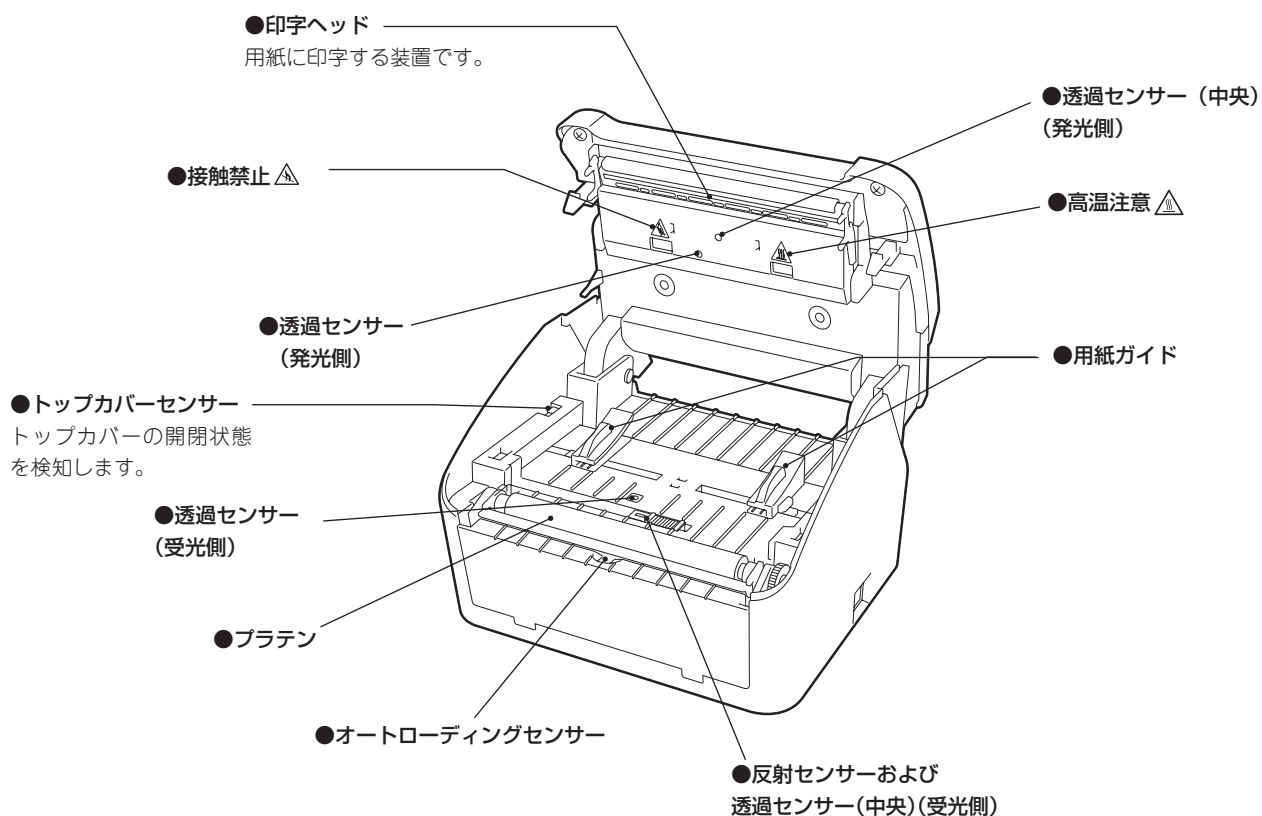
## 正面



## 背面



## 印字機構部



## 付属品

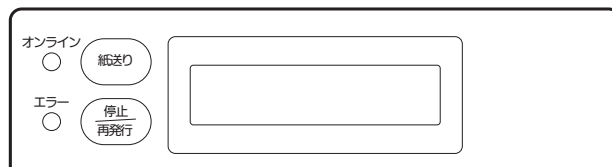
付属品がすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。なお、コンピュータと接続する通信ケーブルは付属していません。通信ケーブルの詳細につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 取扱説明書(1冊…本書)
- 保証書(1式)
- LANケーブル用フェライトコア(1個)

### 補足

- ・ 付属品の形状は、将来予告無しに変更することがあります。
- ・ 用紙は、当社認定の純正品をお買い上げの販売店でお求めください。
- ・ 各オプション使用時の注意事項につきましては、各オプションに付属の説明書を参照してください。

# 操作パネル



## ●液晶表示器(16桁 x 1行)

本機の状態を英字、数字、カタカナや記号で表示します。

## ●オンラインランプ(青色)

- ・コンピュータとの通信が可能な状態のとき点灯します。
- ・コンピュータとの通信を行っているとき点滅します。

## ●エラーランプ(橙色)

- ・何らかの不具合が本機に起こっているとき点灯します。

## ●**紙送り** キー

- ・用紙を1枚分紙送りするとき、または1枚排出するときに使います。
- ・用紙の位置を合わせるときに使います。
- ・システムモード時の各種設定操作を行うときに使います。
- ・一時停止中に長押しするとスレッシュホールド設定メニューへ移行します。

## ●**停止/再発行** キー

- ・発行の一時停止と停止後の再発行を行うときに使います。
- ・エラーを解除して再発行するときに使います。ただし、一部のエラーは[停止/再発行]で解除できません。(→『エラーメッセージについて』)
- ・リセット操作時およびパラメータ設定時、各メニューを表示させるときに使います。
- ・パラメータ設定時、設定項目を選択するときに使います。
- ・システムモード時の各種設定操作を行うときに使います。
- ・一時停止中又はエラー時に長押しするとリセットメニューへ移行します。

# 本機をお使いになる前の準備

ここでは本機の設置場所、電源コードの接続、およびコンピュータとの接続について説明します。

## 設置場所について

本機を操作するための十分なスペースが確保でき、風通しが良く、平坦で水平な場所に本機を設置してください。

また、本機の周辺には、右図のような空間を確保してください。

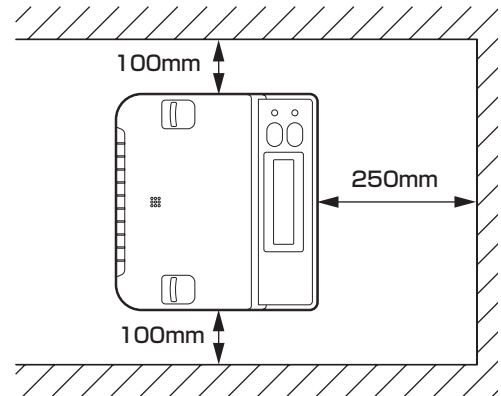
### 注意

#### • 次のような場所には設置しないこと

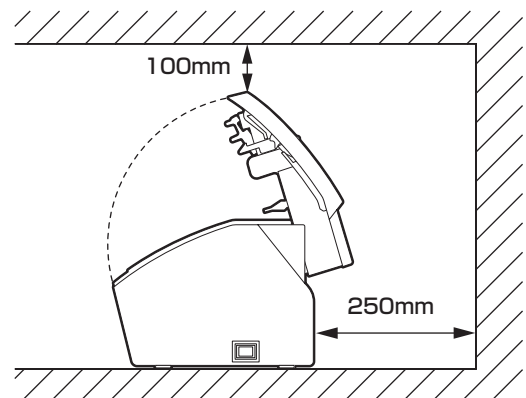
- ・直射日光が当たる場所
- ・高温、多湿な場所
- ・急激な温度変化のある場所
- ・振動のある場所
- ・ほこりの多い場所
- ・磁気や電磁波を発生する機器の近く
- ・火気や水気に近い場所
- ・不安定な台の上

火災・感電・けがの原因となることがあります。

【上から見た図】



【横から見た図】



### お願い

- ・本機を設置する場所の近くで、かつ、電源プラグを容易に抜き差しできる位置にコンセントがあることを確認してください。
- ・コンセントの周辺には障害物を置かないでください。
- ・設置面と本機の底面のすき間が狭いため、ケーブルなどを挟み込んで本機を傾けないでください。ケーブルに傷が付くだけでなく、印字品質や用紙送りに悪い影響を及ぼします。
- ・本機を接続するコンセントに、他の電気製品を接続しないでください。同じコンセントに接続すると、他の電気製品に不具合を及ぼす原因となります。

## 電源コードを接続する

電源コードは、次の手順で接続してください。

また、電源プラグにはアース線が付いていますので、必ずアース端子に接続してください。

### お願い

- 本機を接続するコンセントに、他の電気製品を接続しないでください。同じコンセントに接続すると、他の電気製品に不具合を及ぼす原因となります。




### 警告

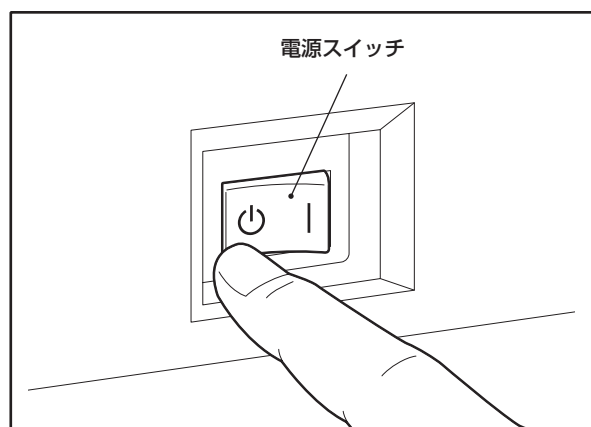
- **交流100V以外では使用しないこと**  
火災・感電の恐れがあります。
- **タコ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと**  
電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。
- **電源コードを無理に曲げたり、傷つけたり、引っばったり、重いものを乗せたり、加熱したりしないこと**  
コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、コードを傷つけたときは電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- **アース線は必ずアース端子に接続すること**  
万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。ただし、事故や故障の原因になることがありますので、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などには接続しないでください。
- **濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないこと**  
濡れた手で操作すると、感電の恐れがあります。



### 注意

- **電源スイッチがON状態のとき、電源コードを接続しないこと**  
ON状態で接続すると、ショート・故障の原因となることがあります。
- **電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込むこと**  
確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。
- **電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと**  
電源コードを引っばると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。
- **電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること**  
ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

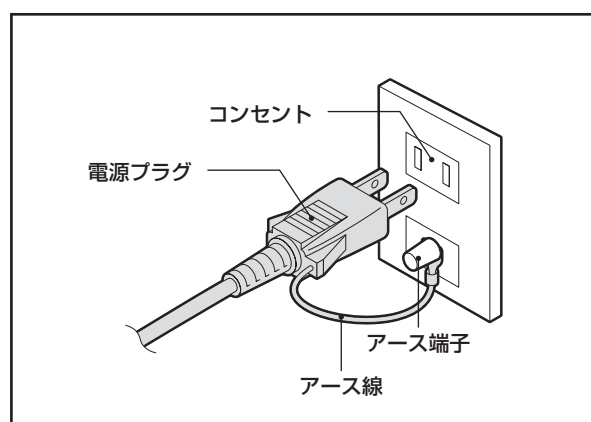
- 1 電源スイッチがOFFになっていることを確認します。(  )側がOFFです。



- 2 アースキャップを外し、アース線をコンセントのアース端子に接続し、電源プラグをコンセントに根元まで差し込みます。

### お願い

- アース線は切断しないでください。  
切断するとアース端子に接続できなくなり、故障の原因となります。

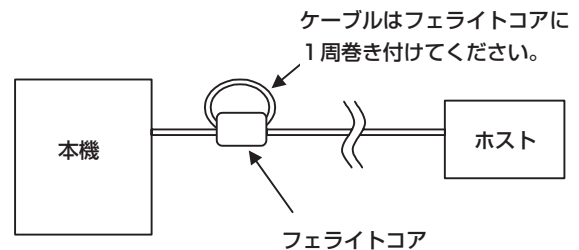


# コンピュータと接続する

コンピュータとの通信方法により、使用する通信ケーブルが異なります。  
詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

## LANケーブルで接続する

- 1 図のように、付属品のLANケーブル用フェライトコアをLANケーブルに取り付けます。

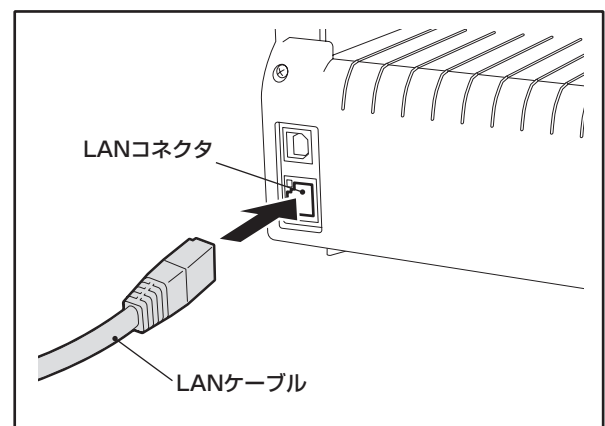


- 2 本機背面のLANコネクタに、LANケーブルのコネクタを接続します。

### 補足

- 本機およびコンピュータの電源をOFFにする必要はありません。

- 3 LANケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータのLANポートに接続します。  
(→『コンピュータの取扱説明書』)

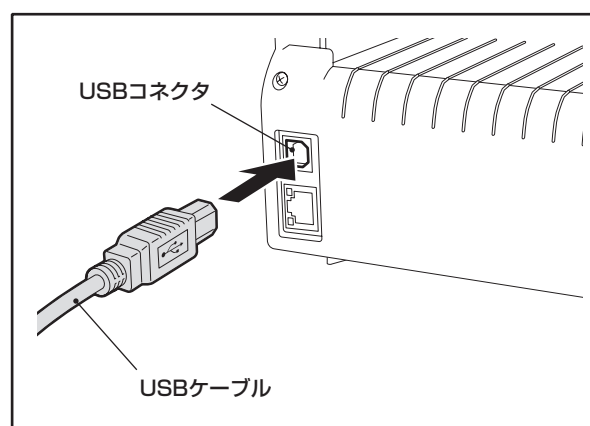


### お願い

- LANケーブルは、規格に合ったものをご使用ください。  
100BASE-TX規格：カテゴリ5e以上(ノイズ環境の悪いところで使用される場合は、カテゴリ7のケーブルを使用してください)  
ケーブル長：セグメント長最大100mまで
- 接続するLAN環境やノイズ環境によっては、通信エラーが起こる場合があります。その場合は、シールドケーブル(STP)や接続機器のマッチングが求められることがあります。
- LANケーブルは、LAN設定(→P.33)後に接続してください。

## USBケーブルで接続する

- 1 コンピュータの電源をONにし、Windowsシステムを起動しておきます。
- 2 本機背面の電源スイッチをONにします。  
(|)側がONです。
- 3 本機背面のUSBコネクタに、USBケーブルのBタイプコネクタを接続します。
- 4 USBケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータのUSBポートに接続します。  
(→『コンピュータの取扱説明書』)



### お願い

- USBケーブルをコンピュータから取り外すときは、コンピュータの「ハードウェアの安全な取り外し」等に従って取り外してください。
- USBケーブルはV2.0に対応した規格品で、一方のコネクタがBタイプのものをご使用ください。

## プリンタドライバについて

プリンタドライバーは、下記のアドレスからダウンロードしてください。  
また、プリンタドライバーの操作方法については、下記アドレスに掲載されている操作マニュアルをご参照ください。

<http://ap.tec.jp/download>.

## 設定ツールについて

プリンタの設定値を変更する場合は、設定ツールをご利用ください。  
設定ツールの詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

# 電源のON/OFFについて

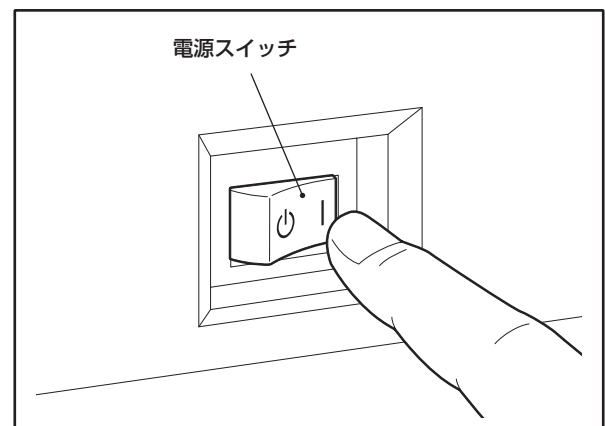
本機は、電源ON時にメモリーのチェックを行います。また、電源OFF時にはメモリー内のデータを消去します。

## お願い

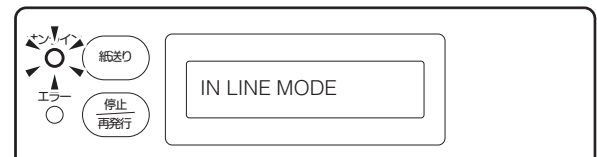
- 電源のON/OFFは電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜き差ししてON/OFFすると、故障の原因となります。

## 電源をONにする

- 1 接続しているコンピュータの電源をONにしてから、本機の電源スイッチをONにします。  
(|)側がONです。



- 2 液晶表示器に「IN LINE MODE」メッセージが表示され、オンラインランプ(青色)が点灯します。

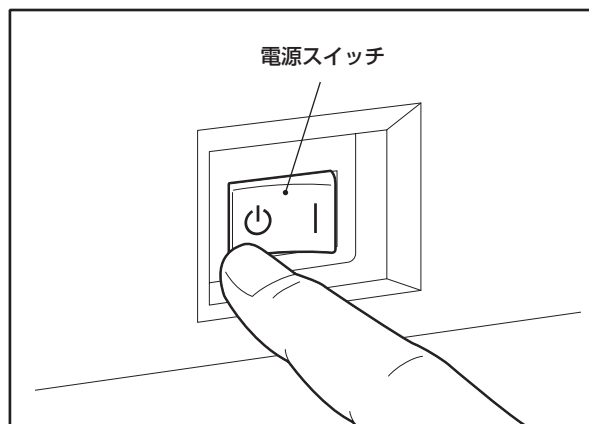
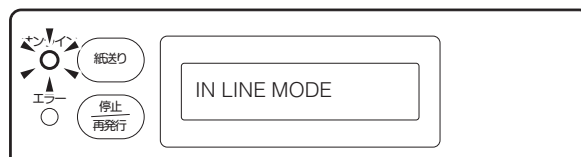


## 補足

- 電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示したときは、『困ったときは』を参照してください。(→ P.36)

## 電源をOFFにする

- 1 液晶表示器に「IN LINE MODE」と表示され、オンラインランプ(青色)が点灯していることを確認します。
- 2 本機の電源スイッチをOFFにします。(⏻)側がOFFです。
- 3 コンピュータの電源をOFFにします。



### お願い

- 用紙発行中は電源スイッチをOFFにしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。ただし、本機から異臭がしたり発煙しているときは、直ちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- オンラインランプが点滅しているときは、電源スイッチをOFFにしないでください。接続しているコンピュータに悪い影響を与えることがあります。

# 用紙をセットする

ここでは、初めて本機に用紙をセットするとき、用紙を補充・交換するときの手順について説明します。本機では、ラベルまたはタグ用紙を使用できます。用紙は当社認定品をご使用ください。用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## お願い

- 紙質など種類の異なる用紙に変えたときは、用紙検出センサーの感度調整を行ってください。(→P.26)
- 用紙をセットしたまま長時間放置しないでください。プラテンの圧力で用紙に圧着痕が付きます。

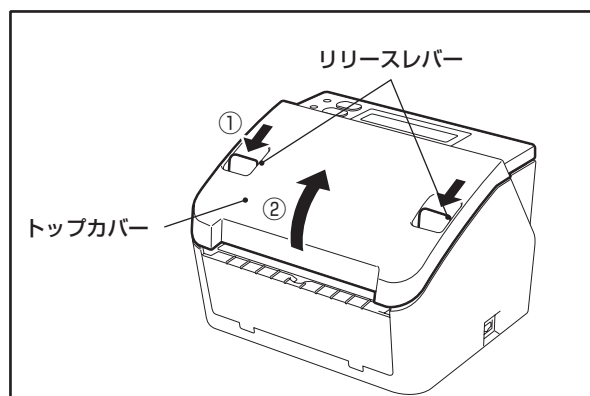


## 注意

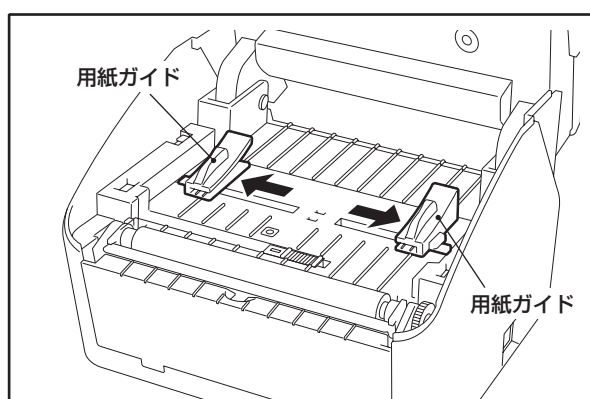
- 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないことやけどの原因となることがあります。

## 用紙ガイド幅を調整する

- 1 本体の電源がOFFの状態であることを確認し、左右のリリースレバーを下方向に押しながらトップカバーを全開にします。

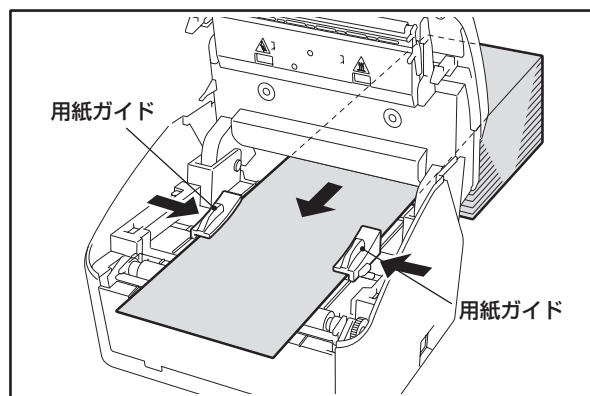


- 2 用紙ガイドを広げます。



- 3 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

- 4 調整後、プリンタから用紙を取り外し、「カチッ」と音がするまでカバーをしっかりと閉めてください。



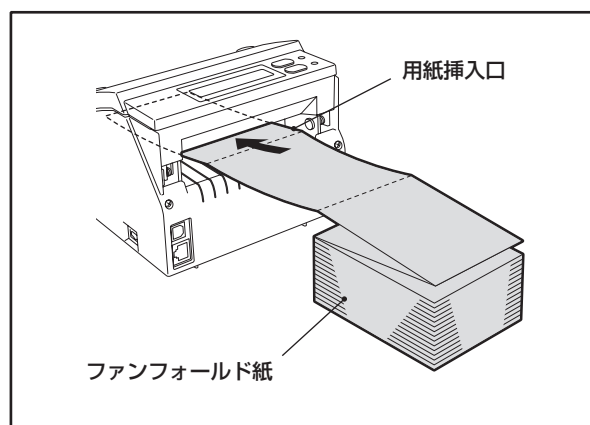
# ファンフォールド紙をセットする

## ■ファンフォールド紙の置き方について

- ファンフォールド紙は印字面を上にして置いてください。
- ファンフォールド紙は用紙挿入口と平行かつ水平に置いてください。斜めに置くと紙送り不良・紙詰まりの原因となります。
- ファンフォールド紙をプリンタと同じ平面に置く場合、プリンタから用紙2折り分程度離してください。
- 通信ケーブルや電源コードなどが、ファンフォールド紙に干渉しないようにしてください。

1 本体の電源をONにし、ファンフォールド紙を用紙挿入口の後方にまっすぐ置きます。用紙が蛇行する場合は、用紙をまっすぐに置き直してください。

2 ファンフォールド紙の先端を用紙挿入口に差し込んで突き当たるまで押し込みます。用紙が挿入しにくい場合は、カバーを開けて用紙をセットしてください。

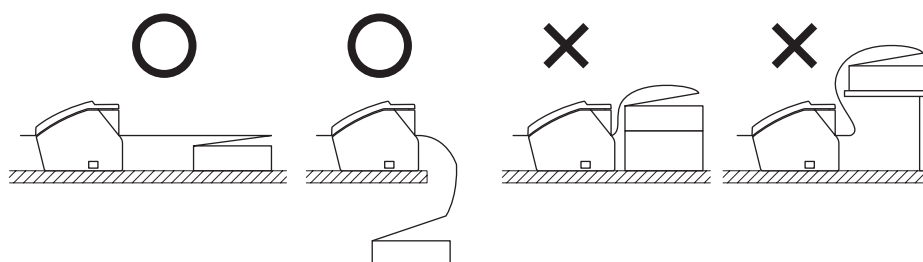


## 補足

- 突き当たるまで用紙を押し込むと、用紙は自動的に正しい位置にセットされます。但し、オプションの剥離モジュールを装着し、剥離発行をする場合は自動でセットされません。
- 1枚目の用紙先端のカット状態や用紙の長さが正規の長さでないとき、印字位置がずれる場合があります。紙送りキーを押して用紙を1枚フィードさせ、用紙の位置を合わせてください。

## お願い

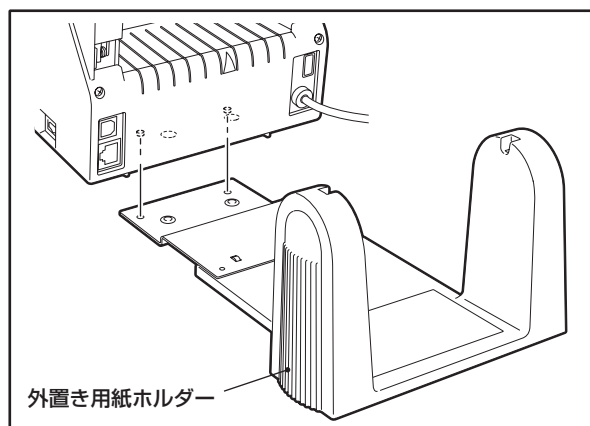
- ファンフォールド紙は本機用の紙挿入口より低い位置に置いてください。
- 用紙送りエラーが発生する場合は、用紙をプリンタから離してください。



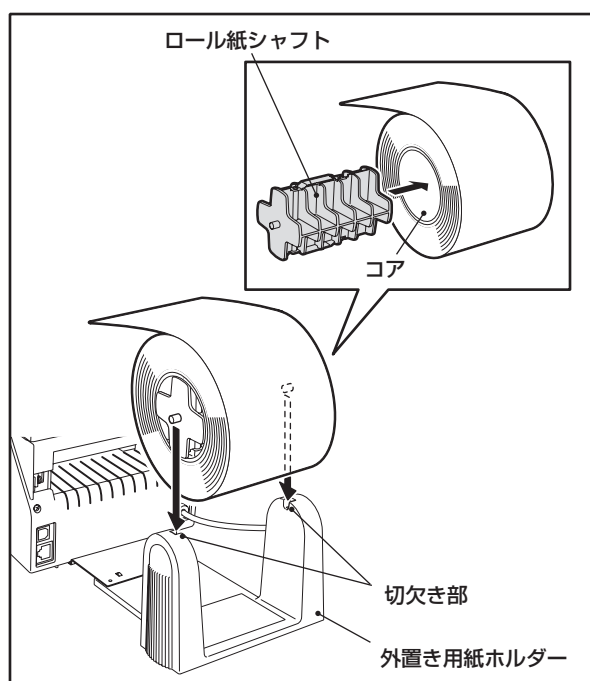
# ロール紙をセットする

ロール紙をご使用の場合は、別売りの外置き用紙ホルダーが必要になります。  
外置き用紙ホルダーは、お買い上げの販売店へご注文ください。  
また、外巻きのロール紙をご使用ください。

- 1 本機後部底面にある突起を外置き用紙ホルダーの穴に差し込みます。



- 2 ロール紙シャフトをロール紙のコアに挿入します。
- 3 ロール紙シャフトの両端を外置き用紙ホルダーの切欠き部にセットします。



- 4 本体の電源をONにします。用紙を引き出し、先端を用紙挿入口に差し込んで突き当たるところまで押し込みます。用紙が挿入しにくい場合は、カバーを開けて用紙をセットしてください。

## 補足

- 突き当たるところまで用紙を押し込むと、用紙は自動的に正しい位置にセットされます。但し、オプションの剥離モジュールを装着し、剥離発行をする場合は自動でセットされません。
- 1枚目の用紙先端のカット状態や用紙の長さが正規の長さでないとき、印字位置がずれる場合があります。紙送りキーを押してラベルを1枚フィードさせ、ラベルの位置を合わせてください。
- 用紙のロール径が大きいと、印字の伸び縮みが発生する場合がありますので、径の小さい用紙をご使用になるか、印字速度を低速に設定してください。

# 用紙検出センサーの位置調整について

本機には、用紙の裏面に印刷された黒マークを検出する反射センサーが1つ、ラベルとラベルのすき間(ギャップ)を検出する透過センサーが2つ装備されています。

反射センサーの位置は、用紙の左端から中央の範囲で動かすことができます。黒マークの位置に合わせて調整してください。

透過センサーは2箇所とも位置が固定されています。使用する用紙のタイプに合わせて、用紙中央より10mm左側を検知する透過センサーまたは用紙中央部を検知する透過センサー(中央)のどちらかをコマンドで選択してください。初期設定は透過センサーが選択されています。

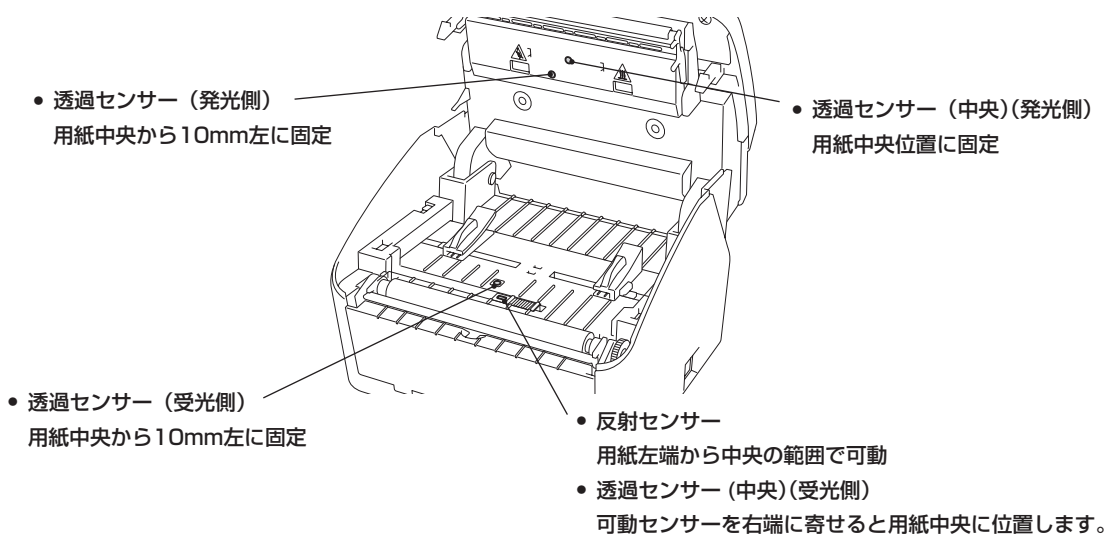
正しい位置調整や選択ができていないと、本機は用紙を発行できずにエラーとなります。



## 注意

- 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないことやけどの原因となることがあります。

## 用紙検出センサーの位置関係

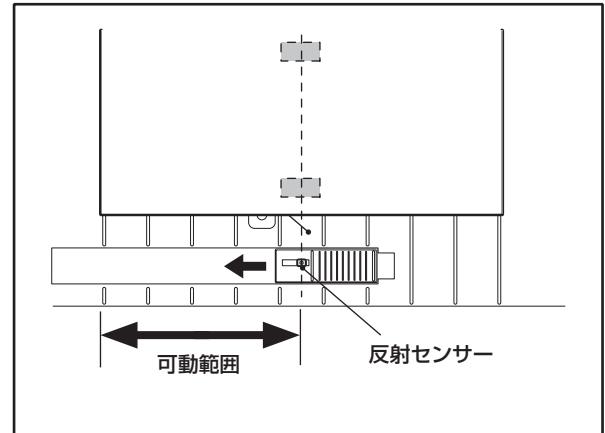


## 反射センサーの位置を調整する

センサー部を手で動かし、反射センサーを黒マークの中心線上に合わせてください。

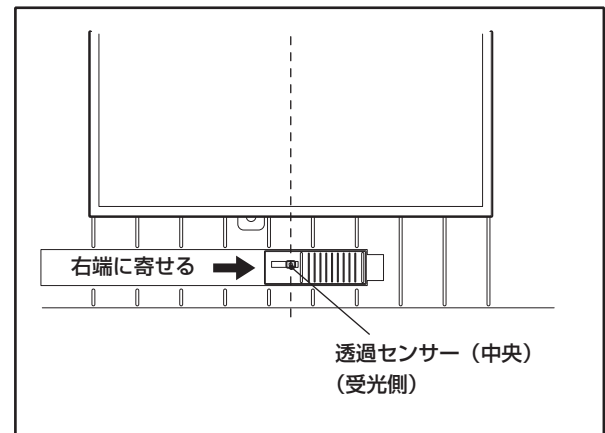
### 補足

- 用紙検出センサーの後方で用紙を折り返すと、黒マークと反射センサーの位置が合わせ易くなります。



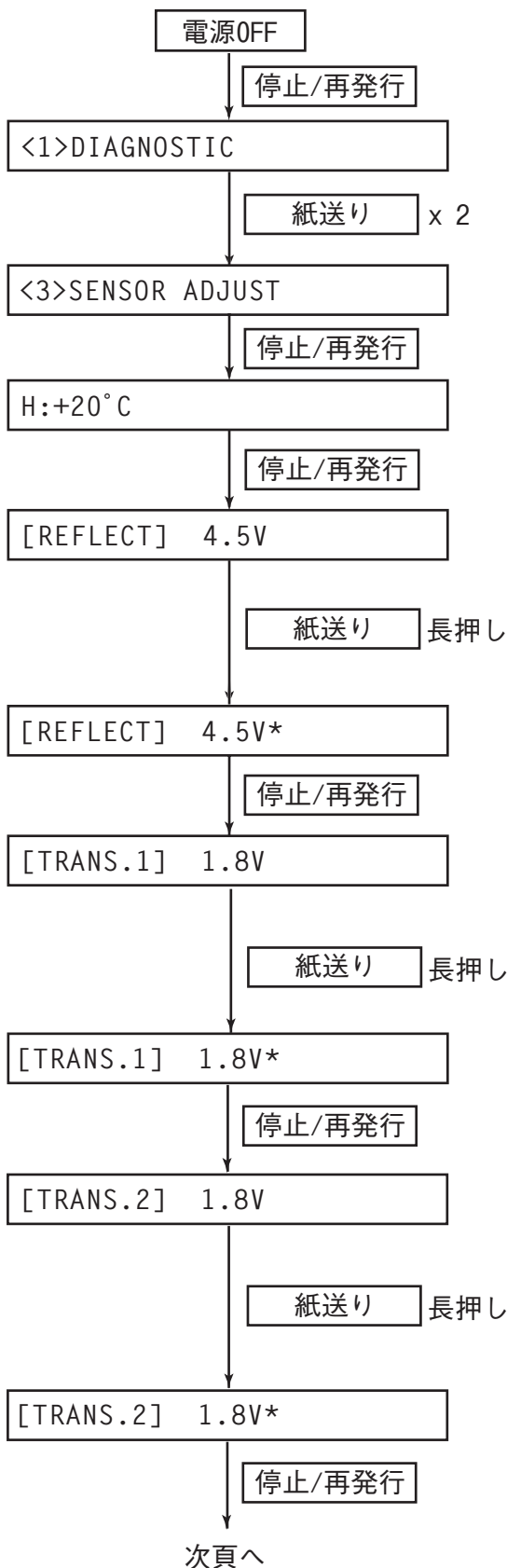
## 透過センサー（中央）を使用する場合

透過センサー（中央）は、反射センサーと受光側を共用しています。センサー部を右端に寄せることで、透過センサー（中央）の受光側と上部に固定されている発光側の位置が揃い、用紙の中央部を検知することができます。

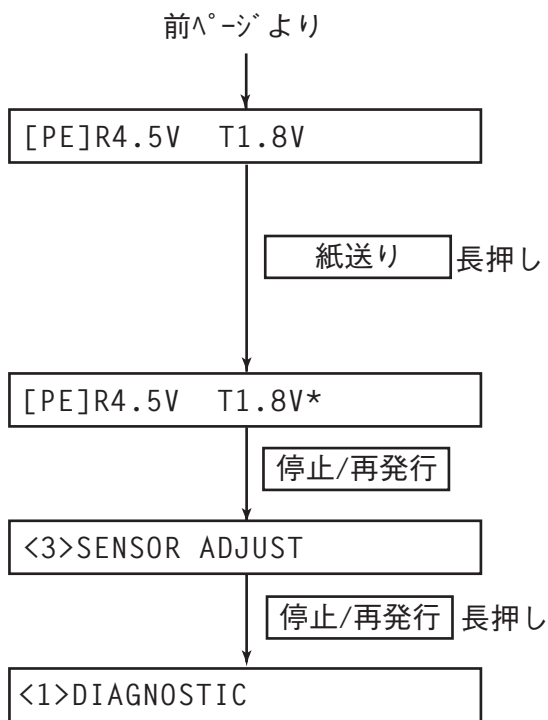


# 用紙検出センサーの感度調整について

用紙の種類や紙質を変えたときは、次の手順で用紙検出センサーの感度を調整してください。



- (1) 本機の電源をOFFにし、[停止/再発行]を押しながら電源をONします。
- (2) システムモード(SYSTEM MODE)に入ったら[停止/再発行]を離します。
- (3) <1>DIAGNOSTICと表示されたら[紙送り]を2回押します。
- (4) 液晶表示器に<3>SENSOR ADJUSTと表示されたら、[停止/再発行]を押します。
- (5) 現在の印字ヘッドの温度が表示されます。
- (6) [停止/再発行]を押します。
- (7) 反射センサーで検知した用紙または黒マークの電圧が表示されます。  
反射センサーの調整：
  1. 用紙の白い部分を反射センサーの上になるようにセットします。
  2. [紙送り]キーを3秒以上押します。
  3. 調整が完了すると電圧値の右側にアスタリスク(\*)が表示されます。(設定範囲: 0.0V ~ 5.0V)
- (8) [停止/再発行]を押します。
- (9) 透過センサー1(中央から左10mmの位置)で検知した用紙またはギャップの電圧が表示されます。  
透過センサー1の調整：
  1. ラベル紙からラベルを剥がした台紙を透過センサー1の上にセットします。
  2. [紙送り]キーを3秒以上押します。
  3. 調整が完了すると電圧値の右側にアスタリスク(\*)が表示されます。(設定範囲: 0.0V ~ 5.0V)
- (10) [停止/再発行]を押します。
- (11) センサー部を右端まで動かすと、透過センサー2(用紙中央位置)で検知した用紙またはギャップの電圧が表示されます。  
透過センサー2の調整：
  1. センサー部が右端にあることを確認します。
  2. ラベル紙からラベルを剥がした台紙を透過センサー2の上にセットします。
  3. [紙送り]キーを3秒以上押します。
  4. 調整が完了すると電圧値の右側にアスタリスク(\*)が表示されます。(設定範囲: 0.0V ~ 5.0V)
- (12) [停止/再発行]を押します。



(13) 反射センサーと透過センサーで検知した紙無し状態の電圧が表示されます。

紙無しレベルの調整:

1. センサー上から用紙を取り除きます。
2. [紙送り]キーを3秒以上押します。
3. 調整が完了すると電圧値の右側にアスタリスク(\*)が表示されます。  
 反射センサー設定範囲: 0.0V ~ 5.0V  
 透過センサー設定範囲: 0.0V ~ 5.0V

(14) [停止/再発行]を押します。

(15) センサー調整メニューが表示されます。

(16) [停止/再発行]を押します。

(17) 自己診断メニューに戻ります。

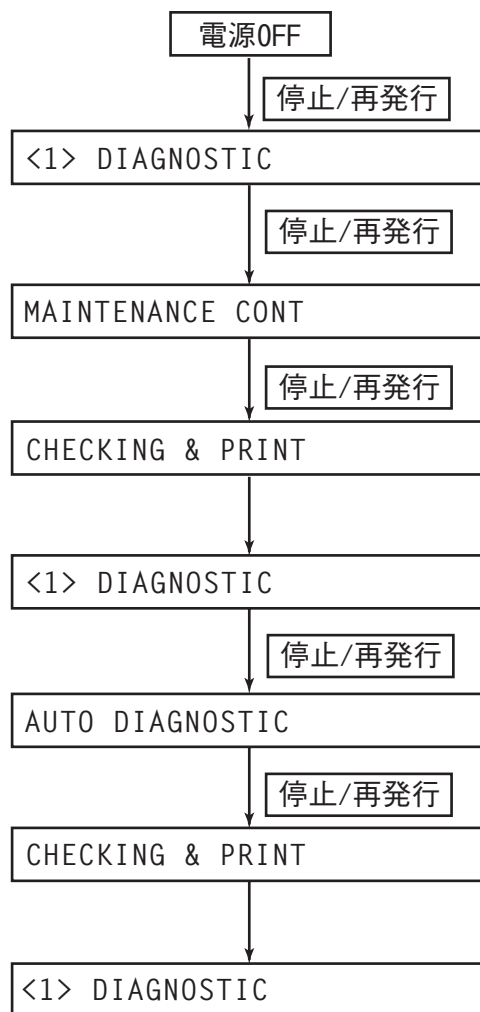
# 自己診断結果とテスト印字について

本機には、本機の状態を診断して結果を印字する自己診断機能と、印字ヘッドの状態を確認するテスト印字機能があります。

ここでは、自己診断の手順と結果印字の内容について説明します。

用紙は当社認定品を使用してください。

## 自己診断印字手順



(1) 本機の電源をOFFにし、[停止/再発行]を押しながら電源をONします。

(2) システムモード(SYSTEM MODE)に入ったら[停止/再発行]を離します。

(3) <1>DIAGNOSTIC (自己診断)と表示されたら[停止/再発行]を押します。

(4) メンテナンスカウンタ・各種パラメータ印字メニューが表示されます。

(5) [停止/再発行]を押します。

(6) メンテナンスカウンタ・各種パラメータが印字されます。

(7) 自己診断メニューに戻ります。

(8) [停止/再発行]を押します。

(10) 自動自己診断メニューが表示されます。

(11) [停止/再発行]を押します。

(12) 自己診断結果が印字されます。

(13) 自己診断メニューに戻ります。

## 補足

- 自己診断結果の印字内容は説明のためのものであり、実際の印字内容と異なります。

## メンテナンスカウンタ・各種パラメータ印字例

TOTAL FEED	0.0m[JA]	総ラベル走行距離(クリアできません)
FEED	0.0m	ラベル走行距離
PRINT	0.0m	印字距離
CUT	0	カット回数
SYSTEM ERR	0	システムエラー発生回数
POWER FAIL	0	瞬時停電発生回数
FEED	+0.0mm	フィード量微調
CUT	+0.0mm	カット位置微調
BACK	+0.0mm	バックフィード量微調
TONE	+0step	印字濃度微調
X ADJ.	+0.0mm	X方向座標微調
FONT	[0][PC-850]	文字コードの切替および"0"のスラッシュ有無
FORWARD WAIT	[ON]+0.0mm	発行後の正転待機切替および動作モード
CODE	[AUTO]	コマンド制御コード種別
PEEL OFF STATUS	[ON]	剥離待ちステータス
FEED KEY	[FEED]	紙送りキー機能
KANJI	[TYPE1]	漢字特殊コード種別
EURO CODE	[B0]	ユーロコード設定
AUTO HD CHK	[OFF]	電源投入時の自動断線チェック設定
FEED CHECK	[ON]	自動頭出し設定
AUTO CALIB.	[OFF]	自動センサー調整
LINERLESS	[OFF]	台紙無しラベル設定
BLANK SPACE LEN	0mm	用紙終端余白長
<<BLUETOOTH>>		<BLUETOOTH設定>
DEVICE NICKNAME	[ ]	デバイスニックネーム
ADDRESS	[ ]	アドレス
SECURITY LEVEL	[OFF]	セキュリティレベル設定値
<<LAN>>		<LAN設定>
PRTR IP	[192.168.010.020]	プリンタIPアドレス
GATE IP	[000.000.000.000]	ゲートウェイアドレス
SUBNET	[255.255.255.000]	サブネットアドレス
MAC	[**_**_**_**_**_**]	MACアドレス
SOCKET PORT	[OFF][08000]	ソケット通信有無およびソケットポート番号
DHCP	[OFF]	DHCP設定
DHCP ID	[00000000000000000000000000000000]	DHCP ID設定
DHCP HOST NAME	[ ]	DHCPホスト名(アスキー表示)
<<WIRELESS LAN>>		<無線LAN設定>
ESS ID	[ ]	ESS ID
WLAN VERSION	[ ]	無線LANバージョン
LPR	[ON]	LPR設定
WLAN STANDARD	[ ]	無線LAN規格
WLAN MODE	[ ]	無線LAN接続モード
ENCRYPT	[ ]	暗号化
WPA MODE	[ ]	WPA設定
AUTH	[ ]	認証方式
DEFAULT KEY	[ ]	デフォルトキー
802.1X SUPPLICANT	[ ]	サブリカント設定方式
CLIENT FILE	[ ]	クライアント証明書
KEY FILE	[ ]	公開鍵証明書
CA FILE	[ ]	CA証明書

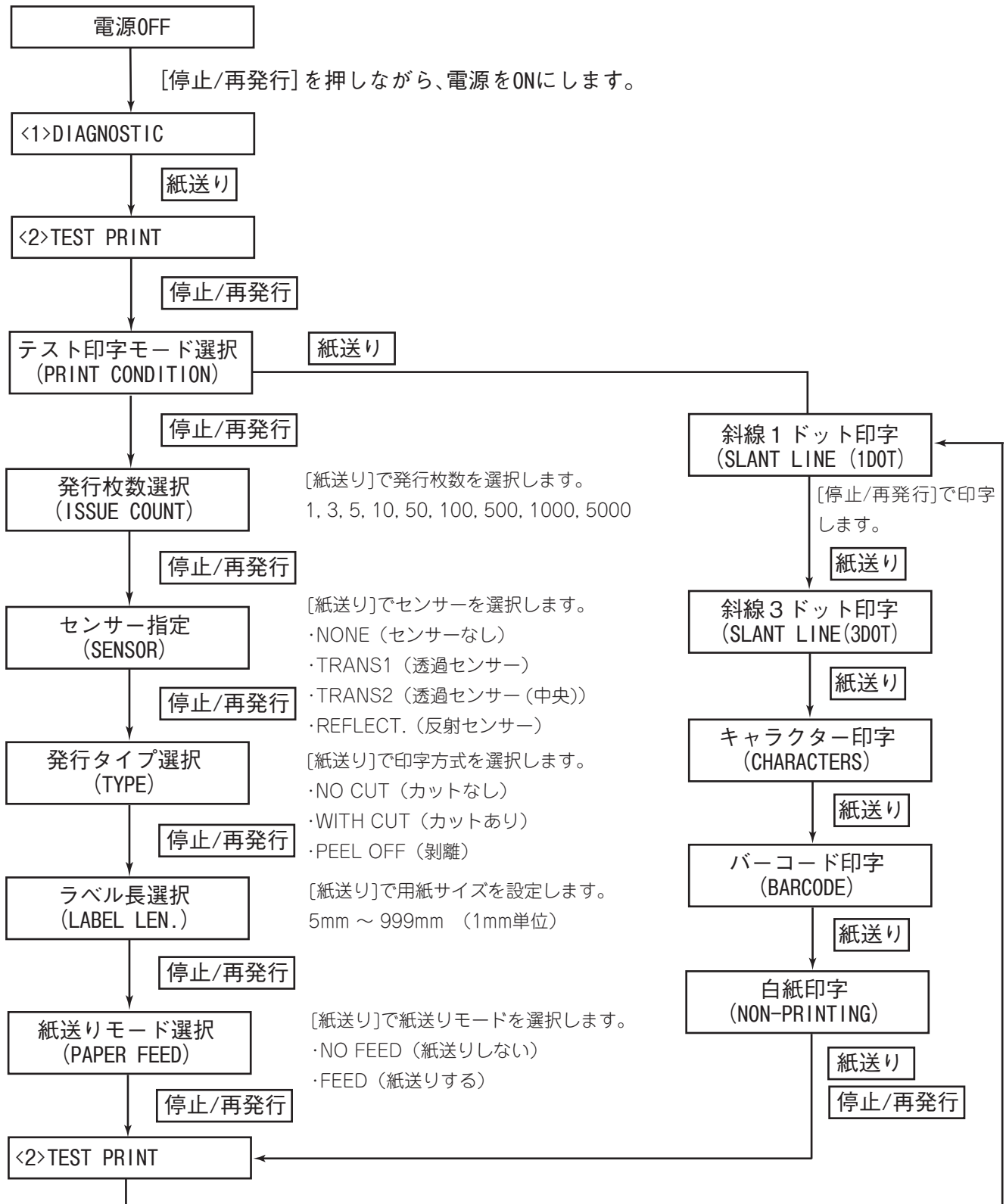
自己診断印字例

B-LV4D-T				(1)
MAIN	24Jul2014	V1.0: A700		(2)
BOOT		V1.0		(3)
SBCS C/G		V1.0		
DBCS JAPANESE		V1.0		
HTML	24Jul2014	V1.0: 3C9F		(4)
SDRAM	32MB			(5)
SENSOR1	00000000, 00000000			(6)
SENSOR2	[H]+20°C			(7)
		[R]4.2V	[T1]2.5V [T2]2.9V	
PE LV.		[R]2.4V,27	[T1]2.5V,00 [T2]2.7V,00	(8)
M THRE.		[R]2.5V,26	[T1]2.9V,23 [T2]2.3V,09	(9)
		[RANK]1	300DPI	(10)
I/F		USB/LAN		(11)

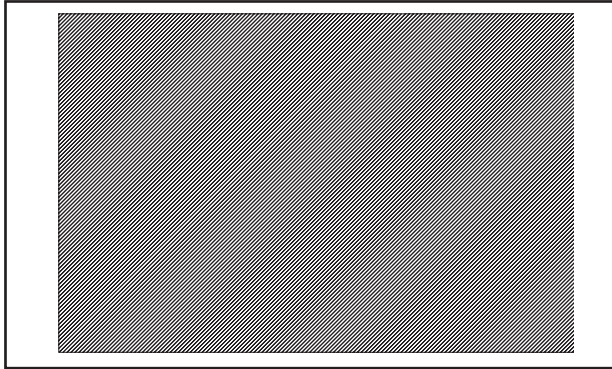
- (1) 機種名
- (2) プログラムエリア:作成日・バージョン・チェックサム
- (3) ブートエリア:バージョン
- (4) HTMLエリア:作成日・バージョン・チェックサム
- (5) SDRAM容量
- (6) センサーチェック1
- (7) センサーチェック2
- (8) 反射センサー・透過センサー・透過センサー (中央)紙無しレベル設定値および設定情報
- (9) 反射センサー・透過センサー・透過センサー (中央)手動スレッシュホールド設定値および設定情報
- (10) 印字ヘッド抵抗ランク・装着されている印字ヘッド密度
- (11) インターフェース

# テスト印字手順

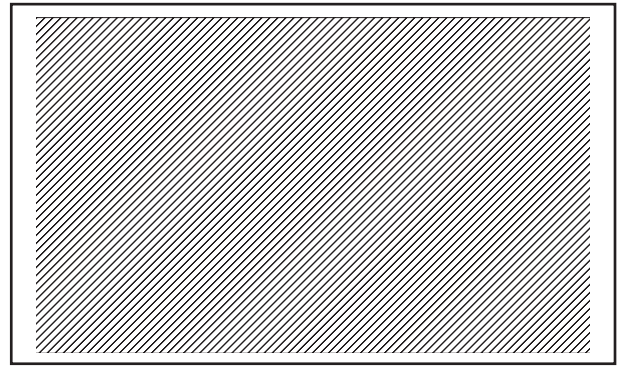
テスト印字の手順を記載します。用紙は当社認定品を使用してください。



# テスト印字サンプル



斜線1ドット印字例



斜線3ドット印字例



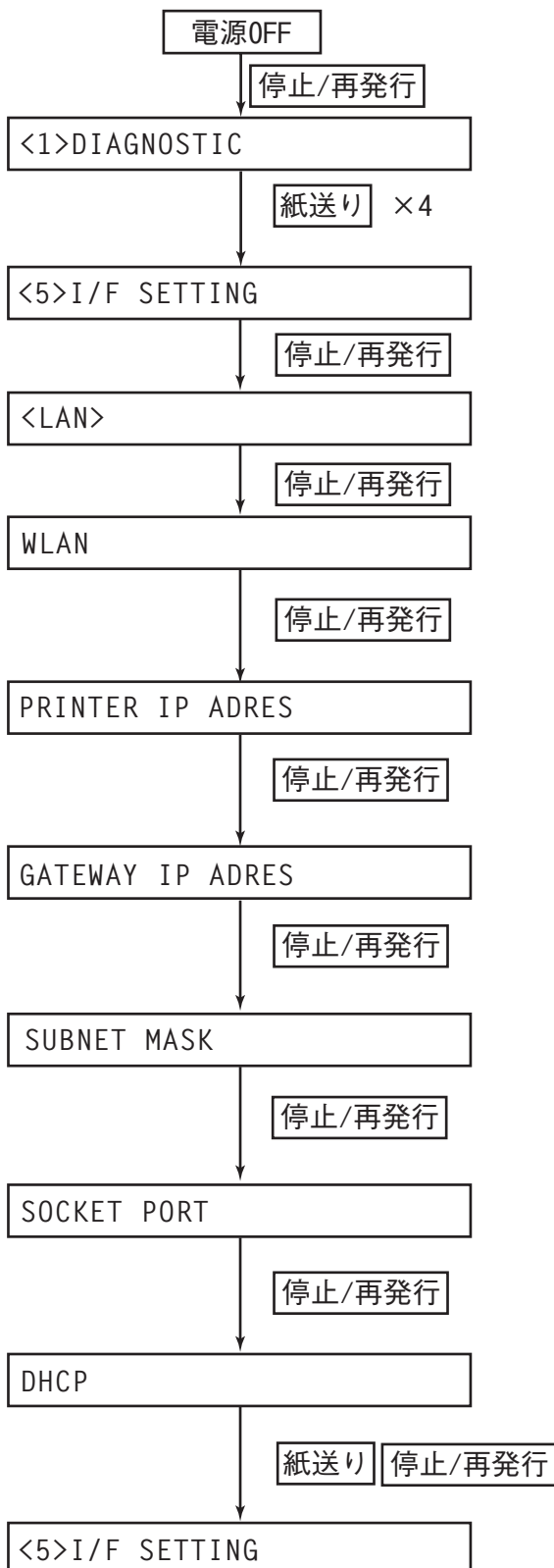
キャラクター印字例



バーコード印字例

# LAN設定手順について

IPアドレス等、ネットワーク設定の手順を記載します。



- (1) 本機の電源をOFFにし、[停止/再発行]を押しながら電源をONします。
- (2) システムモード(SYSTEM MODE)に入ったら[停止/再発行]を離します。
- (3) <1>DIAGNOSTICと表示されたら[紙送り]を4回押します。
- (4) インターフェース設定メニューが表示されます。
- (5) [停止/再発行]を押します。
- (6) LAN設定メニューが表示されます。
- (7) [停止/再発行]を押します。
- (8) 無線LAN有効/無効を選択します。  
[停止/再発行]を押し、[紙送り]でON/OFFを選択します。
- (9) IPアドレスを設定します。  
[停止/再発行]を押し、[紙送り]で値を設定します。  
[停止/再発行]で桁を移動します。  
設定範囲:000 ~ 255
- (10) ゲートウェイアドレスを設定します。  
[停止/再発行]を押し、[紙送り]で値を設定します。  
[停止/再発行]で桁を移動します。  
設定範囲:000 ~ 255
- (11) サブネットマスクを設定します。  
[停止/再発行]を押し、[紙送り]で値を設定します。  
[停止/再発行]で桁を移動します。  
設定範囲:000 ~ 255
- (12) ソケット通信有効/無効を設定します。  
[停止/再発行]を押し、[紙送り]でON/OFFを選択します。ONを選択した場合、5桁の値を設定します。設定範囲:00000 ~ 65535
- (13) DHCP有効/無効を設定します。  
[停止/再発行]を押し、[紙送り]でON/OFFを選択します。
- (14) [紙送り]と[停止/再発行]を同時に押します。
- (15) インターフェース設定メニューに戻ります。

# 日常のお手入れ

いつもきれいな印字が得られるように、定期的(用紙交換ごと)に本機の清掃を行ってください。特に印字ヘッドやプラテンには汚れがつきやすいので、次の手順で清掃してください。



## 警告

- 水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないこと  
内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。



## 注意

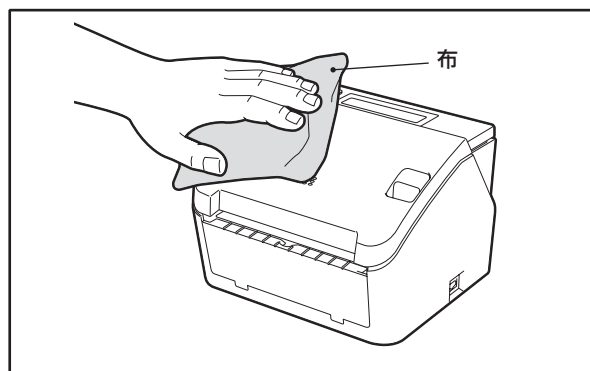
- 清掃時は電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと  
電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで本機を清掃しないこと  
火災の原因となることがあります。
- 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと  
やけどの原因となることがあります。

## カバーを清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 カバーの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。  
特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませて固く絞った布で拭き取ってください。

### お願い

- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色・変質の原因となります。

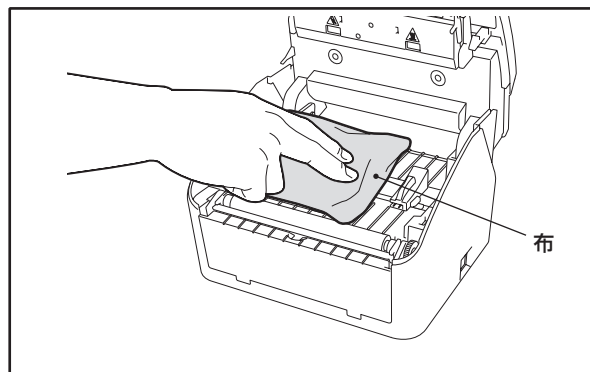


## 用紙搬送部を清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを全開にし、用紙を取り出します。
- 3 用紙搬送部の汚れや紙粉は、少量の水を含ませて固く絞った布で拭き取ります。

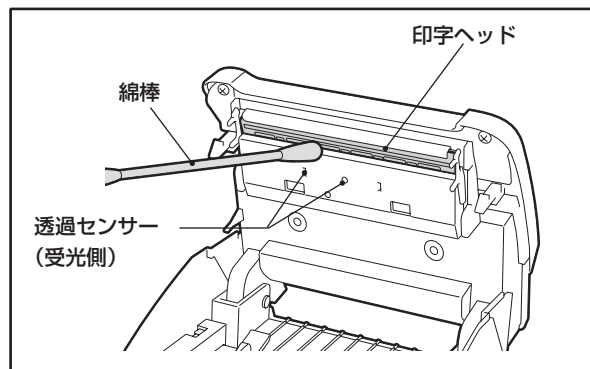
### お願い

- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。用紙搬送部の変色・変質の原因となります。



# 印字ヘッド/プラテン/センサーを清掃する

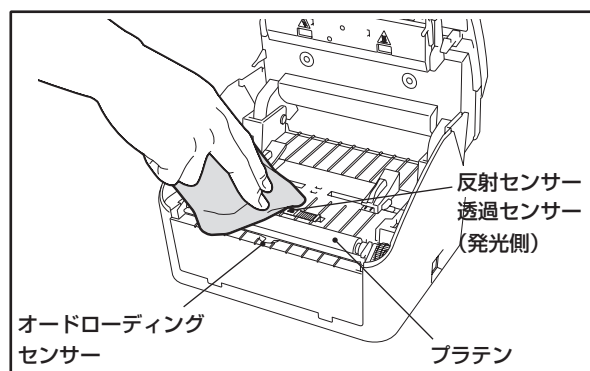
- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを全開にします。
- 3 印字ヘッドの発熱部(網掛け部分)の汚れは、市販の綿棒か別売のヘッドクリーナーペンで拭き取ります。



## 補足

- 別売のヘッドクリーナーペンは、お買い上げの販売店へご注文ください。

- 4 プラテンの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませて固く絞った布で拭き取ってください。
- 5 センサー上のホコリや紙粉は、市販の清掃ハケで取り除きます。



## お願い

- 印字ヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- 印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。
- センサーを鋭利なもので傷つけないでください。故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

# 困ったときは

ご使用中に不具合が生じたときは、次の点を調べてください。

万一、本機の機能が回復しない場合は、電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはサービス担当にご相談ください。

## エラーメッセージについて

エラーメッセージが表示されたときは、その内容に従って処置してください。

エラー原因に対する処置を行って[停止/再発行]キーを押すと、エラーは解除されます。(ただし、一部のエラーは解除されません。)

表示	原因	処置
カオリエラー	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。 (→P.21～)
	発行中に紙詰まりが発生した。	詰まっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して[紙送り]を押してください。(→P.38)
	用紙が正しく紙送りされていない。	用紙をセットし直し、[紙送り]を押すと続きが印字されます。(→P.21～)
	プログラムで指定している用紙と違うサイズの用紙をセットしている。	指定しているサイズの用紙をセットし、[紙送り]を押してください。
	反射センサーが黒マークを検出していない。	反射センサーの位置調整を行ってください。(→P.24～) 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
	選択されている透過センサーがラベル間のすき間を検出していない。	適切な透過センサーを選択してください。
	プログラムのセンサー指定と違う種類の用紙をセットしている。	指定しているセンサーに適した用紙をセットし、[紙送り]を押してください。
	サイズやセンサー指定の異なる用紙をセットして、[FEED]を操作した。	指定しているサイズやセンサーに適した用紙をセットし、[紙送り]を押してください。
カマガリアセン	用紙が終了した。	新しい用紙をセットし、[紙送り]を押すと続きが印字されます。(→P.21～)
カッターエラー (カッターモジュール装着時)	カッター内部で紙詰まりが発生した。	詰まっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して[紙送り]を押すと続きが印字されます。 (カッターモジュールの組込説明書)
ヘッドセットエラー	印字ヘッド部を開けたまま用紙を発行または紙送りしようとした。	トップカバーを確実に閉めてください。
サーマルヘッドエラー	印字ヘッドの発熱体の一部が断線している。	電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。

表示	原因	処置
ヘッド温度オーバー	印字ヘッドの使用温度の上限に達した。	電源スイッチをOFFにし、温度が下がるまでしばらくお待ちください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
フラッシュメモリエラー	書き込みエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度書き込みを行ってください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
フラッシュフォーマットエラー	フォーマットエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度フォーマットを行ってください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
フラッシュメモリオーバー	空き容量が足りなくて登録できない。	電源スイッチをOFF/ONしてください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
その他のエラーメッセージ	ハードウェアまたはソフトウェアに不具合が発生している。	電源スイッチをOFF/ONしてください。再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。

## 正しく動作しないとき

こんなとき(現象)	点検するところ(原因)	直しかた(処置)
電源プラグをコンセントに差し込んでも電源がはいらない。	停電またはコンセントまで電気が来ていない。	他の電気器具で電気が来ているか確認してください。電気が来ていない場合は、最寄りの電力会社にご相談ください。
	建物のヒューズやブレーカーが切れている。	ヒューズやブレーカーを点検してください。
電源スイッチをONにしても電源がはいらない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
用紙が発行されない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットし直してください。(→P.21～23)
	通信ケーブルが抜けている。	通信ケーブルを接続してください。(→P.17～18)
	用紙検出センサーが汚れている。	用紙検出センサー部を清掃してください。(→P.35)
用紙に印字されない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。(→P.21～23)
	コンピュータから印字データが送られていない。	印字データを送信してください。
印字がかすれる。	当社認定の用紙を使用していない。	当社認定の用紙に交換してください。(→P.21～23, 40)

こんなとき(現象)	点検するところ(原因)	直しかた(処置)
ドット抜けする。	印字ヘッドが汚れている。	印字ヘッドを清掃してください。 (→P.35)
	印字ヘッドの発熱体の一部が断線している。	印字に支障がある場合は電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはサービス担当に印字ヘッドの交換をご依頼ください。
きれいにカットされない。 (オプションカッター装着時)	カッターの刃が寿命です。	電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはサービス担当にカッターユニットの交換をご依頼ください。

### 補足

- ・ 処置欄の説明文中の「電源をOFFに」とは、電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜くことです。

## 用紙が詰まったとき

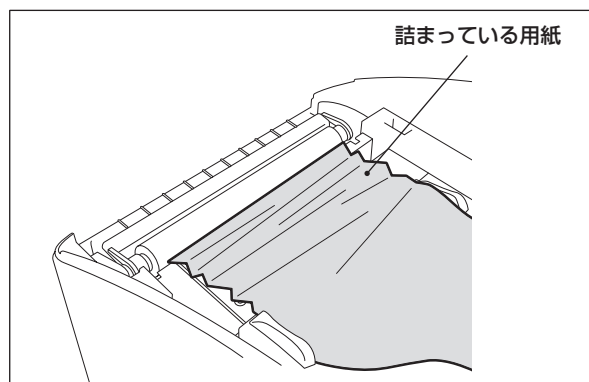
本機内部で用紙が詰まったときは、次の手順に従って取り除いてください。



### 注意

- ・ 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと  
電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと  
やけどの原因となることがあります。

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを全開にします。
- 3 プラテンの周辺で詰まっている用紙を取り除きます。
- 4 用紙を正しくセットし直します。  
(→『用紙をセットする』)
- 5 トップカバーを閉め、電源をONにして印字を再開してください。



### お願い

- ・ 印字ヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因になります。
- ・ 印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。

# 仕様

## 本機の仕様

項目	仕様
型式	B-LV4D-GS15-R
印字方式	感熱方式(熱直接発色)
印字ヘッド密度	8ドット/mm (203dpi)
発行モード	連続発行/カット発行(オプション)
印字速度 (*1)(*2)(*3)	50.8mm(2インチ)/秒、76.2mm(3インチ)/秒、101.6mm(4インチ)/秒、127.0mm(5インチ)/秒、152.4mm(6インチ)/秒
印字可能用紙	『用紙の仕様』を参照
印字可能文字種	ビットマップ…英数字21種類+漢字6種類 アトライ…8種類 外字
印字可能バーコード	JAN8/13/128, UPC-A/E, NW-7, CODE39/93/128, ITF, MSI, イタスリアル2of5, JAN8/13 add on 2&5, UPC-A add on 2&5, GS1 Databar, カスタムバーコード
印字可能二次元コード	Data Matrix, MicroPDF417, PDF-417, QRコード, Micro QRコード
表示方式	液晶ディスプレイ 16桁 x 1行
インターフェース	LANポートx1(10BASE-T/100BASE-TX準拠) USBポートx1(USB V2.0 ホット対応)…Bタイプ USBポートx1(USB V2.0 ホット対応)…Aタイプ(保守用)
入力電圧	AC100V±10% 50Hz/60Hz
消費電力(待機中/印字中)	2.6W/54W (1.1A)
使用温度・湿度範囲	5℃～40℃ 25%～85%(ただし、結露しないこと)
保存温度・湿度範囲	-25℃～60℃ 10%～90%(ただし、結露しないこと)
外形寸法	167mm(W) × 161mm(D) × 130mm(H)
質量(本体重量)	約1.6kg
オプション(別売)	外置き用紙ホルダー(B-EV904-PH-R) フルカッターモジュール(B-LV204-F-R)(*4) パーシャルカッターモジュール(B-LV204-P-R)(*4) 剥離モジュール(B-LV904-H-R) 無線LANモジュール(B-LV700-WLAN-R) Bluetoothモジュール(B-LV700-BT-R) 300dpiヘッド(B-LV704-TPH3-R)

(\*1) 複写紙を使用する場合の印字速度は、複写印刷エリアが50.8mm(2インチ)/秒、複写印刷エリア以外が127.0mm(5インチ)/秒となります。

(\*2) オプションの300dpiヘッド装着時は、印字速度は50.8mm(2インチ)/秒、76.2mm(3インチ)/秒、101.6mm(4インチ)/秒、127.0mm(5インチ)/秒となります。

(\*3) 印字率によって間欠印字になります。

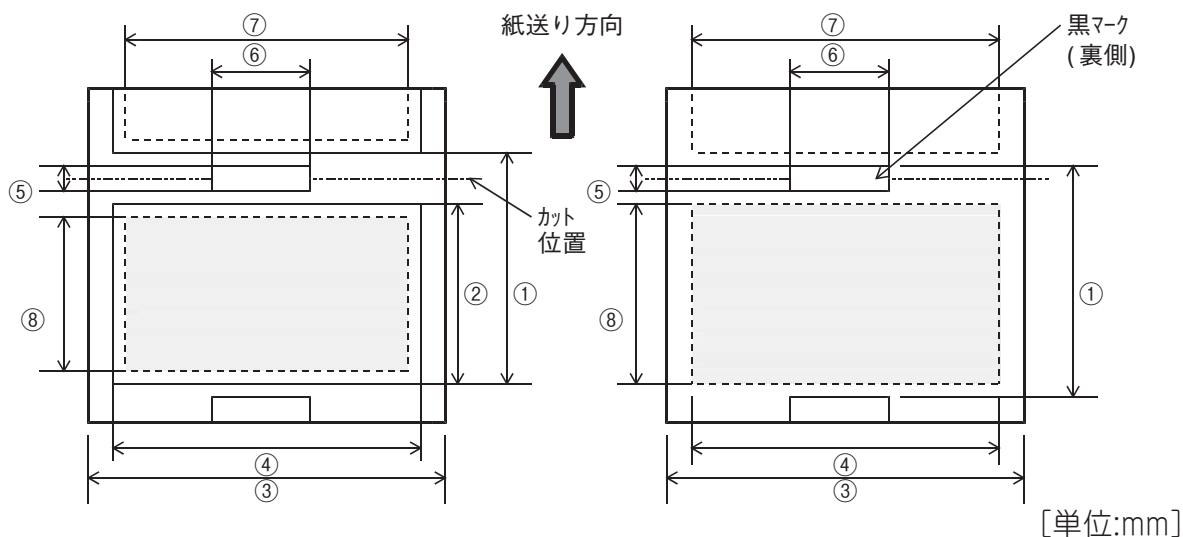
(\*4) 2015年1月発売

### 補足

- 本機の仕様は改良のため、将来予告無しに変更することがあります。

# 用紙の仕様

本機で使用できる用紙にはラベル、タグ、圧着用紙、複写用紙があります。  
用紙は当社認定品をご使用ください。また、用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



[単位:mm]

項目	発行モード		連続発行	剥離発行 (オプション)	カット発行 (オプション)
	ラベル	タグ			
①用紙長さ(ピッチ)	ラベル	203dpi	10.0 ~ 999.0	20.0 ~ 256.0	20.0 ~ 999.0
		300dpi	10.0 ~ 457.2	20.0 ~ 256.0	20.0 ~ 457.2
	タグ	203dpi	10.0 ~ 999.0	---	20.0 ~ 999.0
		300dpi	10.0 ~ 457.2	---	20.0 ~ 457.2
②ラベル長		203dpi	8.0 ~ 997.0	18.0 ~ 254.0	18.0 ~ 996.0
		300dpi	8.0 ~ 455.2	18.0 ~ 254.0	18.0 ~ 454.2
③用紙幅(台紙を含む)			25.4 ~ 118.0		
④ラベル幅			22.4 ~ 115.0		
⑤ギャップ長/黒マーク長			2.0 ~ 10.0	ギャップ長:6.0 ~ 10.0 黒マーク長:2.0 ~ 10.0	
⑥黒マーク幅			最小8.0		
⑦有効印字幅	203dpi	最大108.0			
	300dpi	最大105.7			
⑧有効印字長	203dpi	最大997.0			
	300dpi	最大455.2			
用紙厚さ(台紙を含む)	ラベル、タグ:0.1 ~ 0.17、複写用紙:0.23、圧着荷札:0.175				
最大ロール径	φ214.0 (外置き用紙ホルダー使用)				
巻き方向	ラベル	外巻き(標準)、内巻き			
	タグ	外巻き(標準)、内巻き			
紙管の内径	φ76.2 (外置き用紙ホルダー使用)				

## お願い

- 用紙は高温、多湿をさらいますので、涼しい場所に保管してください。また、ホコリや紙粉が付かないように気を付けてください。

## 補足

- 当社認定品以外の用紙で印字した結果については、保証の範囲外とさせていただきます。
- 用紙の仕立てにより、フィード量の微調整が必要な場合があります。

# 保証とアフターサービス(必ずお読みください)



## 保証(保証書)について

保証書はお買い上げの販売店でお渡しいたします。必ず「お買い上げ日・保証期間・販売店名」などの記入をご確認の上、大切に保管してください。

保証書に「お買い上げ日・保証期間・販売店名」など所定事項の記入がないときは、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

保証期間中は保証書の規定に従って無料修理いたします。保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



## ユーザー登録について

このたびお買い上げいただきました製品に関するアフターサービスの提供は、サービスを担当するサービスステーションに登録されて実施されます。したがって、製品を受領されましたら、ただちにお買い上げの販売店に「ユーザー登録」の手続きを要請し、ご確認をお願いいたします。

なお、安心してご利用いただけますように「保守サービス契約システム」をお勧めいたします。詳細は最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。



## サービスコールの受付時間

1月1日を除く8時30分から20時までといたします。

ただし、修理訪問についての詳細は、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。サービスステーションの連絡先は、『サービスステーション所在地一覧』をご覧ください。



## 修理サービスについて

ご使用中に異常が生じたときは、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは製品の型式名、およびお買い上げ時期を忘れずにお知らせください。



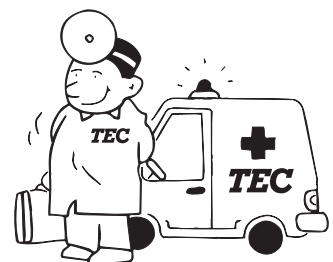
## 消耗品について

消耗品は製品に合った当社純正品を、お買い上げの販売店にご注文ください。

- ・用紙

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	販売店名			
	電話番号	( )	—	
	サービス担当名			
	電話番号	( )	—	

お買い上げ日、販売店名、サービス担当名、電話番号などを記入しておくとう便利です。



# サービスステーション所在地一覧

地方	都道府県名	サービスステーション名	電話番号	所在地	郵便番号
北海道	北海道	札幌第一	011(733)6500	札幌市東区北八条東6丁目12-79	060-0908
		旭川	0166(29)3100	旭川市二条通13丁目左3号	070-0032
		北見	0157(36)4168	北見市東相内町23-3	099-0878
		釧路	0154(53)0640	釧路市昭和中央1丁目1番1号	084-0910
		帯広	0155(20)6622	帯広市東一条南12丁目2-1	080-0801
		苫小牧	0144(36)1690	苫小牧市元中野町4-15-15	053-0005
		函館	0138(45)6071	函館市昭和2-25-13	041-0812
東北	青森	青森	017(729)4800	青森市第二問屋町1-8-2	030-0113
		八戸	0178(45)3681	八戸市番町3	031-0031
	岩手	盛岡	019(634)0531	盛岡市本宮3-32-1	020-0866
		一関	0191(23)2953	一関市上大槻街1-45	021-0882
	宮城	仙台	022(772)6351	仙台市泉区上谷刈6-10-22	981-3121
	秋田	秋田	018(823)0364	秋田市川尻大川町2-11	010-0942
		大館	0186(44)5641	大館市中道2-1-35	017-0045
	山形	山形	023(631)1240	山形市松波1-4-16	990-0023
		酒田	0234(24)6472	酒田市亀ヶ崎3-7-5	998-0842
		郡山	024(933)4761	郡山市富田町逆池下1-8	963-8041
福島	いわき	0246(27)5581	いわき市小島町3-3-5	973-8411	
	水戸	029(241)2934	水戸市笠原町600-27	310-0852	
関東	茨城	土浦	029(824)3030	土浦市桜町4-3-18	300-0037
		古河	0280(32)7137	古河市本町1-10-12	306-0023
		宇都宮	028(639)9241	宇都宮市中今泉3-12-14	321-0968
	群馬	高崎	027(363)6422	高崎市飯塚町458-2	370-0069
		太田	0276(46)5661	太田市飯田町1255-1	373-0851
	埼玉	さいたま	048(856)8924	さいたま市中央区上落合5-20-30	338-0001
		川口	048(294)8707	川口市差間3-17-15	333-0816
		熊谷	048(524)8860	熊谷市万平町1-33	360-0034
	千葉	川越	049(245)6881	川越市脇田本町30-2	350-1123
		千葉	043(255)7221	千葉市稲毛区穴川3-11-8	263-0024
成田		0476(22)8958	成田市団護台3-1-19	286-0035	
木更津		0438(37)7611	木更津市請西2-24-4	292-0801	
船橋		047(432)7161	船橋市湊町1-1-1	273-0011	
柏		04(7146)9121	流山市野々下3-755-5	270-0135	
東京		城西第一	03(3209)5154	新宿区大久保2-4-12	169-0072
	城西第二	03(3209)5090	新宿区大久保2-4-12	169-0072	
	城南第一	03(5791)4091	品川区東五反田2-17-2	141-8664	
	城南第二	03(5791)4092	品川区東五反田2-17-2	141-8664	
	城東第一	03(5626)3581	江東区亀戸1-4-2	136-0071	
	城東第二	03(5626)3033	江東区亀戸1-4-2	136-0071	
	東京システム	03(5291)8618	新宿区大久保2-4-12	169-0072	
東京都下	多摩第一	042(525)8051	立川市高松町3-1-5	190-0011	
	多摩第二	042(525)8055	立川市高松町3-1-5	190-0011	
	多摩システム	042(525)8033	立川市高松町3-1-5	190-0011	
	CVS東京	03(5285)3019	新宿区大久保2-4-12	169-0072	
神奈川	横浜第一	045(348)8425	横浜市保土ヶ谷区神戸町134	240-0005	
	横浜北	045(973)1521	横浜市青葉区市ヶ尾1152-13	225-0024	
	川崎	044(520)8390	川崎市幸区新塚越201	212-0027	
	横浜南	045(791)5208	横浜市金沢区福浦1-1-1	236-0004	
	相模原	046(257)9931	座間市相模が丘1-34-20	252-0001	
	藤沢	0466(54)3201	藤沢市鵜沼花沢町1-17	251-0023	
	小田原	0465(23)1855	小田原市中町2-7-17	250-0005	
山梨	甲府	055(235)4343	甲府市青葉町20-7	400-0828	
信越	新潟	新潟	025(367)0030	新潟市中央区南出来島1-9-1	950-0963
		長岡	0258(21)5411	長岡市新産東町58	940-2128
		上越	025(524)4800	上越市本町4-2-25	943-0832
越前	長野	長野	026(243)3470	長野市三輪荒屋1151-1	380-0804
		佐久	0267(66)0144	佐久市大字長土呂1141-1	385-0021
		松本	0263(25)1526	松本市出川3-9-8	390-0827

地方	都道府県名	サービスステーション名	電話番号	所在地	郵便番号
北陸	富山	富山	076(491)2170	富山市根塚町 1-3-10	939-8204
	石川	金沢	076(223)0126	金沢市西念 1-17-9	920-0024
	福井	福井	0776(26)2948	福井市成和 2-708	918-8239
中部	静岡	静岡岡	054(281)7428	静岡市駿河区登呂 6-5-47	422-8033
		沼津	055(921)9942	沼津市若葉町 10-22	410-0006
		伊豆	0558(76)9710	伊豆の国市大仁 570	410-2392
		浜松	053(460)9735	浜松市東区宮竹町 171-1	435-0043
	愛知	システム	052(350)6241	名古屋市中区正木 3-5-17	460-0024
		名古屋第一	052(350)6311	名古屋市中区正木 3-5-17	460-0024
		名古屋第二	052(350)6311	名古屋市中区正木 3-5-17	460-0024
		春日井	0568(85)0821	春日井市貴船町 148	486-0826
		豊橋	0532(64)2335	豊橋市中岩田 5-1-5	440-0832
	岐阜	安城	0566(77)2621	安城市井杭山町一本木 6-4	446-0074
		岐阜	058(254)2430	岐阜市敷島町 9-28-1	500-8369
	三重	津	059(225)9141	津市柳山津興 617	514-0803
	関西	滋賀	滋賀	077(563)6202	草津市野村 1-2-16
京都		京都	075(692)1605	京都市南区西九条東御幸田町 13-1	601-8443
		福知山	0773(23)5405	福知山市末広町 5-10-1	620-0054
大阪		システム第一	06(6398)1806	大阪市淀川区宮原 5-6-11	532-0003
		システム第二	06(6398)1805	大阪市淀川区宮原 5-6-11	532-0003
		システム第三	06(6398)1833	大阪市淀川区宮原 5-6-11	532-0003
		大阪北第一	06(6398)1825	大阪市淀川区宮原 5-6-11	532-0003
		大阪中央第一	06(4790)7500	大阪市中央区内淡路町 2-3-13	540-0038
		枚方	072(861)3351	枚方市東田宮 1-13-11	573-0023
兵庫		堺	072(253)0921	堺市北区中百舌鳥町 5-754	591-8023
		神戸東	078(265)0062	神戸市中央区磯上通 4-1-6	651-0086
		神戸西	078(265)0062	神戸市中央区磯上通 4-1-6	651-0086
		姫路	079(288)2048	姫路市安田 1-68-1	670-0955
奈良	明石	078(914)4401	明石市樽屋町 8-34	673-0898	
	奈良	0742(33)8270	奈良市大宮町 4-465-10	630-8115	
	和歌山	073(475)6311	和歌山市黒田 278-1	640-8341	
中国	鳥取	田辺	0739(25)3543	田辺市下万呂 584-1	646-0004
		鳥取	0857(24)5600	鳥取市元魚町 2-105	680-0034
	島根	松江	0852(23)3702	松江市浜乃木 2-3-12	690-0044
		益田	0856(24)2260	益田市乙吉町イ 342-1	698-0003
	岡山	岡山	086(231)4385	岡山市北区富田 503-6	700-0936
		広島第一	082(543)4550	広島市中区平野町 2-21	730-0047
	広島	広島第二	082(543)4550	広島市中区平野町 2-21	730-0047
		福山	084(945)2533	福山市南蔵王町 6-15-45	721-0973
	山口	徳山	0834(29)0940	周南市桜木 3-5-69	745-0806
		山口	083(973)4206	山口市小郡上郷 3582-1	754-0001
四国	徳島	徳島	088(626)2183	徳島市沖浜東 3-67-2	770-8053
	香川	高松	087(869)1036	高松市東ハゼ町 6-9	761-8054
		松山	089(926)1275	松山市宮西 1-8-14	790-0065
	愛媛	新居浜	0897(34)2915	新居浜市八雲町 4-3	792-0805
		宇和島	0895(25)6975	宇和島市栄町港 3-4-1	798-0031
	高知	高知	088(833)4844	高知市棧橋通 1-8-3	780-8010
		四万十	0880(34)2875	四万十市中村一条通り 5-9-16	787-0025
九州	福岡	福岡第一	092(451)7921	福岡市博多区東比恵 2-9-23	812-0007
		福岡第二	092(451)7921	福岡市博多区東比恵 2-9-23	812-0007
		北九州	093(562)3555	北九州市小倉北区青葉 2-6-31	803-0822
	佐賀	福岡南	0942(84)5558	鳥栖市藤木町字若桜 3-6	841-0048
		佐賀	0952(33)0046	佐賀市神野東 2-2-1	840-0804
	長崎	長崎	095(887)5692	西彼杵郡長与町高田郷 3055-4	851-2127
	熊本	熊本	096(370)8333	熊本市南区江越 1-16-28	860-0834
	大分	大分	097(545)4410	大分市大字三芳字庄の原 1292-1	870-0876
	宮崎	宮崎	0985(25)1492	宮崎市柳丸町 232-2	880-0844
	鹿児島	鹿児島	099(253)9443	鹿児島市東郡元町 11-29	890-0068
沖縄	那覇	098(859)8712	那覇市小禄 3-12-13	901-0152	

諸事情により所在地、電話番号などが変更になることがあります。  
ご了承ください。

2013年2月15日現在

取扱説明書

テック バーコードプリンタ

**B-LV4D** シリーズ

東芝テック株式会社